

本物のメス握り 手術を模擬体験

市内で中学生15人

中学生が本物の医療機器を使って医療行為を体験する「ブラック・ジャックセミナー」が21日、横浜市神奈川区のガーデンシティ横浜であった。実際の医療行為を体験することで医師を志すきっかけになればと、医療機器メーカーのジョンソン・エンド・ジョンソンなどが企画した。

手術衣を着た中学生15人が医師の指導を受けながら、超音波メスや自動縫合器など本物の医療機器を操

作。人間の臓器に見立てた鶏肉を切除したり、シミュレーターで内視鏡手術を体験したりした。

友人2人と参加した中学1年の清水珠理さん(13)は「技術的な細かい作業が多くて難しかったけど、先生の教え方が丁寧でわかりやすかった」と話した。

